

令和2年度 第1回 ヨコハマ国際まちづくり推進委員会 会議録

日 時	令和3年2月16日（火）10時00分～11時30分
開催場所	市庁舎共用会議室 みなと15
出席者	小野崎委員長、加藤委員、北川委員、小島委員、陣委員、坪谷委員、中里委員、林田委員、バートン委員、細谷委員
欠席者	小池委員、清水委員、韓委員

議事（1） 委員長の選任等

【決定事項】

委員長として小野崎委員を選出。また、委員長職務代理者については、小野崎委員長からの指名により、小池委員に決定。

議事（2） 令和2年度国際局事業報告

【主な意見】

- ・地域における日本語教育の動きは、他都市と比較してもかなり動きが早い。磯子区と緑区がモデル地区となっているようだが、その意味合いは何か。先進地域というより、底上げが必要な地域におけるモデル地区の設定か。年度ごとにモデル地区を選定しているのか。
- ・地域日本語教育は計画が壮大である。教える側の人材確保や質の向上が必要と考える。
- ・ICTの活用、オンラインでの日本語教育や交流会等について、参加者側にはWi-Fi環境やタブレット等の機器がない方もいる。地域活動支援センター等においても機器等の環境があまり整っていないため、地域の気軽に行ける場所にオンライン環境があれば、参加者がより参加しやすくなると思う。
- ・国際交流ラウンジの状況も変わっており、今年度の補正予算でWi-Fi環境等を整えているが、区によってラウンジや地域の状況が異なるので、ラウンジと区との連携を促進して、区ごとに必要な対応を進めてほしい。また、国際局においても区地域振興課・ラウンジとの連携を推進していただきたい。

議事（3） 令和3年度国際局予算概要

意見無し

議事（4） 多文化共生市民活動支援補助事業

- ・選考方法について、部会により選考審査を行うとする事務局案を承認。
- ・選考等部会の部会員について決定（※当該部分の議論は非公開）。

議事（5） 報告事項

ア 国際戦略について

- ・多文化共生の推進について、児童生徒など若者のみではなく、大人を対象とした多文化共生の推進も重要と考える。偏見などの危険性もある中で、大人側や日本人側の多文化理解を得るにあたって、必要な施策を実施していただきたい。
- ・人権については、各々に理解してもらおうと同時に、外国人ともっと気楽で、対等に付き合える機会があれば良いと思う。

イ 第2期中区多文化共生推進アクションプランの策定について

- ・外国人が主体的に社会に参画するという部分が良いと思う。一方、プランを評価する段階において、指標設定や進捗管理をどのように行うのかという部分が難しいのではないかと思う。区からの支援という側面と若者等、外国人主体となる取組を明確にすると良いと考える。
- ・若者が活躍する「にじいろ探検隊」の活動は素晴らしい。世代交代の課題を色々な所で抱える中で、若者たちが主体となる取組は、他の模範となるようモデル的に進めていただき、成果の発信も強化していただきたい。
- ・外国人が支援を受ける側から、担い手となり、更に子どもたちが活躍する場を創出する、このような発展的な取組は大変素晴らしい。他区へも取組が広がっていくと良いと思う。